

検討会の今後の検討作業について（座長私案）

2020年4月28日

高村ゆかり

1. 検討会の今後の検討作業について

※石炭火力輸出への公的支援に関するファクトを整理する「ファクト集」

※「ファクト集」を説明する「ガイド」（仮称）を作成してはいかがか

※急速でダイナミックな状況の変化が生じていることから、今後も不断に情報を更新していくことが望ましいのではないか

2. 「ガイド」（仮称）の議論のための項目出し（たたき台）

※パリ協定と脱炭素社会に向けた世界の動き

- ・パリ協定の長期目標
- ・パリ協定長期成長戦略
- ・諸外国の動向
- ・ビジネス、投資家の動き

※エネルギーをめぐる状況の変化

- ・再生可能エネルギーの発電コスト低下
- ・エネルギー需要と電源構成の見通し（公表政策シナリオ、持続可能な発展シナリオ）
- ・途上国、アジアの主要国のエネルギー政策
- ・エネルギー市場の見通し：新たな市場、多様化

※ビジネス・金融の動向と変化

- ・エネルギービジネスの変化
- ・金融の変化

※石炭火力発電事業と公的支援の現状と動向

- ・石炭火力発電事業と公的支援の現状
- ・諸外国、国際開発金融機関などの政策

※「CO2 排出削減に貢献するインフラ輸出」とその支援を考える視点

・「パリ協定の長期目標と整合的に CO2 排出削減に貢献するエネルギーインフラ」(パリ協定長期成長戦略)

・石炭火力発電の時間軸

・相手国が脱炭素社会に向かう移行と政策転換を支援

脱炭素社会に向かう移行の相手国のメリット（将来の気候変動リスクの低減だけでなく、エネルギーコスト低減、エネルギーアクセスの向上、大気汚染対策など）

既存石炭火力対策

環境性能に優れた日本の技術の優位性を発揮できる市場づくり

・質の高い環境・社会配慮